

第19回 ネオクラシック コンサート

～音楽とお話でつづる午後のひととき～

岐阜県交響楽団演奏会



管弦楽 岐阜県交響楽団



指揮 塚田隆雄



ソプラノ 赤堀織慧



メゾソプラノ 三輪陽子



テノール 中井亮一



バリトン 岡本茂朗

合唱 ネオクラシック合唱団

司会 武山幸子

合唱指導 永田昌彦・田中陽治・赤堀織慧 練習ピアノ 鹿野成好

2018年7月29日(日) 14:00開演(13:20開場)

瑞穂市総合センター サンシャインホール

一般:1,000円 中学生以下:500円

[チケット取扱]

瑞穂市総合センター事務室

瑞穂市文化協会事務局 (月～金 10:00～16:00)



〈チケットぴあ予約専用電話〉

0570-02-9999

(Pコード 114-303)

[URL] <http://pia.jp/t/>

※チケットぴあスポット、セブンイレブン、サークルKサンクスで、直接お買い求めいただけます。
※お近くの中目新聞販売店でもお買い求めいただけます。5月1日10:00から、販売開始いたします。

[お問い合わせ]

●洋楽部会 090-8150-6114(役) mizuho_bunkaza@yahoo.co.jp

●瑞穂市生涯学習課 058-327-2117

共に歌いましょう 歓喜の歌を!!

モーツァルト／交響曲第三五番「ハフナー」より
ベートーヴェン／交響曲第九番ニ短調 第四楽章 ”歓喜に寄せて” 他
指揮者コーナー

※曲目は変更する場合があります

主催：瑞穂市

共催：瑞穂市教育委員会・瑞穂市文化協会

主管：瑞穂市文化協会洋楽部会

洋楽部会：mizuho-bunkaza.com/neocla

第19回 ネオクラシックコンサート

～音楽とお話でつづる午後のひととき～

共に歌いましょう 歓喜の歌を!!



公益社団法人 岐阜県交響楽団

1953年、岐阜交響楽団として発足。長年にわたる活動が認められ2011年3月「公益社団法人岐阜県交響楽団」となる。楽団員は110余名

で、様々な職業人で構成しているアマチュアオーケストラである。活動は、年3回の自主公演を中心に各地の学校や地域での演奏活動、岐響ジュニアオーケストラの育成など、地域に根ざした音楽文化普及と向上発展に熱意と情熱をもって貢献している。1998年専用の練習場が完成。2003年創立50周年にはサントリーホールにて「東京公演」を、2009年創立55周年にはウィーン楽友協会にて「ウィーン公演」を開催し大成功をおさめた。また2013年創立60周年ではマーラー作曲交響曲第2番「復活」を演奏し、力強いメッセージを発信した。1984年「地域文化功労表彰」(文部大臣)、1999年「ふるさと文化賞」(岐阜市)、2007年「岐阜新聞大賞」(岐阜新聞)を受賞。今後、ますますのレベルアップを図り、郷土の皆さまに、いっそう誇りをもっていただけるオーケストラを目指し、努力を続けている。



指揮 塚田隆雄

愛知県出身。名古屋芸術大学音楽学部演奏学科を卒業し、同大学研究生を修了。在学時より指揮活動を開始し、同大学ウィンドオーケストラや英国式ブラスバンド等を指揮する。2016年度ウクライナ国際指揮マスタークラスに参加し、修了コンサートにおいてウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団を指揮し、スラヴ音楽奨励賞を受賞する。

国内では音屋ウインドオーケストラ、音屋室内管弦楽団、セントラル愛知交響楽団等を指揮。また、2017年4月よりドリームコンサート～ジブリの思い出がいっぱい～の指揮を務め全国ツアーを展開している。

現在、東海・関西圏においてオーケストラ・吹奏楽・合唱の指揮者やトレーナーとして活動している。これまでに指揮を高谷光信、N.スーカッチ、N.ジャジュラの各氏に師事。また、井村誠貴、金丸克己、小島岳志、竹本泰蔵、西野淳の各氏の下でオペラ・オペレッタ・ミュージカルの副指揮を務める。京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会研究員。



ソプラノ 赤堀織慧

県立岐阜北高校、岐阜教育大学教育学部音楽科卒業。卒業後声楽レッスンを始め日本クラシックコンクール声楽部門2年連続全国大会本選入賞。奨励賞、特別賞受賞。これまで第九ソリスト、市民オペラ、学校公演、サロンコンサート等出演。最近は地元オーケストラとの共演やオーケストラ合唱団、コーラス連盟合唱団の指導も行う。

現在、瑞穂女声コーラス、コールすのまた、コール・エコー、木の本コーラス、リンダフロール、コモド2000、コーロ・ファルル、コーロ・グレイシス等を指揮・指導。岐阜(中日ビル内)・大垣(豊田学園内) 中日文化センター講師。岐阜新聞カルチャーアカデミー各務原イオン教室講師。元岐阜音楽院講師。



メゾソプラノ 三輪陽子

愛知県立芸術大学音楽部声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第5回国際ワグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。平成20年度新進芸術家海外派遣制度在外研修員としてイタリアとオーストリアに留学。新国立劇場オペラ公演、同劇場の鑑賞教室「カヴァレリアルスティカーナ」「愛怨」「西部の娘」「ワルキューレ」「蝶々夫人」等に出演。宗教曲、モーツァルト「戴冠ミサ」「ハ短調ミサ」「レクイエム」パッサ「ロ短調」「ヨハネ受難曲」ヴェルディー「レクイエム」ブルックナー「第3番へ短調」等アルトソロとして出演。

コンサートではベートーヴェン「交響曲第九番」やマーラー「嘆きの歌」「復活」「大地の歌」「亡き子を偲ぶ歌」等クオアチア、ウィーン、ベルリンにて海外公演に出演。今年、チェコにて公演予定。二期会会員



テノール 中井亮一

名古屋芸術大学声楽科首席卒業、同大学院修了。CoCo壱番屋創業者宗次徳二氏より奨学金を給付され05年より渡伊、08年ミラノ・スカラ座音楽院オペラ研修所修了。帰国後は藤原歌劇団に推薦入団し、「魔笛」「セビリヤの理髪師」「ファウスト」「夕鶴」など多数のオペラに出演。18年度は同団主催本公演全4演目のうち3作品(「Don Giovanni」「椿姫」「静と義経」)で主役テノールとして出演予定。東京フィル、読売交響楽団、新日本フィル、神奈川フィル、名フィル、セントラル愛知、大阪交響楽団、兵庫芸文オケ(PAC)などオーケストラとの共演も多い。近年は男声合唱団の指導やNコンの審査員(09～17年)など合唱分野でも活躍中。桜美林大学講師、名古屋二期会研修所講師、藤原歌劇団員。



バリトン 岡本茂朗

愛知県立芸術大学卒業。同大学院修了。1992年イタリア、リウニョティ劇場にて「偶然の結婚」の主役でヨーロッパデビュー。その後「椿姫」ジェルモン役「リゴレット」リゴレット役「トロヴァトーレ」ルーナ役等主要な役でイタリア・サルザーナ市立歌劇場、カッシャーナテルメ野外劇場、ハンガリー・ブダペスト国立歌劇場、ブルガリア・ソフィア国立歌劇場、マルタ共和国・アストラ劇場、スロヴェニア・マリボール国立歌劇場等、ヨーロッパ各地の劇場にて絶賛を浴びる。2009年イタリア・ピサ市長より、ピサ市に貢献のあった者に贈られる白鷺章を授与される。2010年上海万博では国連バピリオン主催のコンサートに招かれ好評を博す。第10回グローバル東敦子賞受賞。椋山女学園大学非常勤講師。